

(平成 19 年度特定非営利事業に係る事業)

事業報告書

(自・平成 19 年 4 月 01 日)

(至・平成 20 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人

ゆったり NPO

1. 宅老事業の取り組みについて

(1) 事業全般

意識してきた理念や考え方

ノーマライゼーションの理念もと高齢者や障害者が安心して暮らせるよう「支えあい・助け合う」町づくりを目指す。

「デイホームゆったり」が地域の高齢者達の拠り所になれる施設づくりを目指す。高齢者が何時までも元気に地域で安心して暮らせるよう「閉じこもり予防・病氣予防・認知症予防」に取り組む。

取り組みの実際と効果

ゆったり NPO の呼びかけにより、緩やかなネットワークでのボランティア活動を行うアテラーノ旭が活動を始めた。高齢者や障害者が安心して暮らせる町づくりを提案し、地域性を生かした「支えあう・助け合う」町づくりへの一歩が実現した。

(2) 趣味活動

意識してきた理念や考え方 (各種教室や催しなど)

生きがい作りと健康のためのカラオケ、俳句、コーラス、文章教室、いきいき百歳体操、健康チェック等の講座を開いている。又、利用者主体の行事や、四季折々の行楽の機会を作り、生活の質を良くする取り組みを心掛けた。

取り組みの実際と効果

講座仲間の繋がりが、家を行き来する友達関係までに発展し、交流を深めている人達もいます。体調不良の人も「ゆったりに来たら元気になる」と喜んでくれます。

特に行楽に出かける時は、下見して安全面の確認や、不慮の事故に備えての配慮等大変ですが「家族と出かける機会も無いし、気の合う仲間と出かけるのを楽しみ」と要望も多く、出来るだけ応えています。これらの取り組みが生活の質の向上に役立っていると思う。

(3) 地域との交流

意識してきた理念や考え方 (地域住民との交流など)

高齢者を支えるには施設が単独に存在するのではなく、地域社会で支えあう仕組みを作る必要があるとの考え方の下に、ゆるやかなネットワークで呼びかけた「アテラーノ旭」が、高齢者の生きがいの場として、地域のお茶の間として活動を始めた。

取り組みの実際の効果

ゆったりの他にも地域で寄り合える場が出来、食事やお茶を楽しみにする人、趣味の作品を展示したり、販売する事に生きがいを見つけ出した人もいます。

(4) 地域高齢者支援センター各出張所などとの連携

取り組みの実際と効果（民生委員、地区社協、福祉施設等具体的な機関名も記入）

一人暮らしの認知症の方が利用していた時、トラブルが再々あり、施設入所までの間、担当ケアマネージャーさんや民生委員さんと連絡を取り合いながら見守りを行った。

2、利用者への取り組みについて

(1) 意識してきた理念や考え方（現利用者・利用休止している方・未利用者への配慮）

高齢者が何時までも元気に地域で豊かにくらすよう「閉じこもり予防・病気予防・認知症予防」に意識した取り組みを行う。その為の趣味の講座や、誕生日会等の行事、四季折々の行楽などを企画・実施する。

利用休止している方々には病気等の体調変化の有無を確認し、病気の場合は手だては出来ているか把握し状況によっては必要なアドバイスを行う。

未利用者へは行事などの案内でお誘いのビラ入れ行う。また利用者の皆さんに御願いをして、友達等を誘ってもらおう。

(2) 取り組みの実際と効果（意識して取り組んだ内容）

講座を通して、仲間同士の繋がりができ、日常でもお付き合いする友達関係に発展し、楽しめている様子です。体調不良の人も仲間に励まされて「ゆったりに来たら元気になる」と喜んでくれます。

誕生日会 回 行楽は花見・紅葉狩りを行った。安全面での下見や、不慮の事故に備えての配慮等大変ですが「家族と出かける機会も無いし、気の合う仲間と出かけるのが楽しみ」と要望も多く、出来るだけ応えるようにしています。これらの取り組みが生活の質の向上に役立てていると思う。

3、ボランティアとの関わり

(1) ボランティアへの関わりや考え方

ゆったりNPOの会員さんや地域の方に御願いする事もあるが、日常の清掃や、実務の手伝いなど閉じこもりの青年2名にできる事を協力してもらっている。又利用者の方にも持てる技術や資格を生かしたボランティアを御願いしたいと思う。

(2) 実際の活動状況と成果

利用者さんの一人が、生きがいを感じてコーラスの講座をボランティアで受け持ってくれている。又、地域のお祭りにゆったりが出店を出す度に、準備を会員さんや利用者さんが手伝いに来てくれる。閉じこもりの青年達は、本人たちのペースで働き、お年寄りに感謝をされるも多く、気持ちよく居られる場所を提供できていると思う。

4. 視察・研修について

受け入れ状況と感想

宅老所の現状や活動に理解と協力を得たいのでいつでも受け入れたい。

高知大学生が旭の町歩きで立ち寄り、見学をして行った。それ以外は19年度の視察・研修は無かった。

5. 利用料・昼食代・入浴代について

利用料（講座利用の場合のみ） 200円

カラオケ利用の場合 300円

昼食代 400円

6. 受託法人との連携・連絡体制など

ゆったりNPOニュースで会員さんには日常活動報告を行い、その都度必要な協力を御願ひしたり、連携を目指している。

7. 課題

1. 利用者さんと、ゆとりを持って関われる時間と人手が必要です。
2. 利用者さんの高齢化に伴う、送迎体制も必要ではないかと思ひます。
3. 職員・ボランティアの件数費及び交通費の増額が必要だと思ひます。
4. 諸経費の不足分を補えるだけの委託費を増額して欲しい。